

# 堂

二〇〇五年八月、JR安土駅に降り立つと、すぐに駅前の安土観光レンタサイクル「ふかお」から声がかかった。電動アシスト自転車を勧められた。サイクリングのモデルコースの資料にマーカーで印をつけながら、案内してくれた。せっかくなので、このコースに従っていくことにしよう。はじめて電動アシスト自転車に乗ったが、これはいい。ぐんぐん進む。まず、めざしたのは安土セミナーヨ跡である。数分で到着した。

# 欣

が日本布教の成功の鍵を握るとみていた。宣教師に対して好意的であった織田信長の許しを得て、安土城下に神学校・セミナーヨのための土地を譲り受けた。一五八〇年、宣教師オルガンティーンノによって日本最初のセミナーヨが建てられた。安土のセミナーヨは、安土城炎上の際に焼失してしまった。現在はその跡地の一部がセミナーヨ史跡公園として整備されている。公園の入り口には「セミナーヨ趾」の碑が建てられている。

百々橋を渡り、右へ曲がって大手道休憩所へ向かう。ここで自転車を置き、石段を登ることにする。大手道だ。表玄関に当たるのが大手門跡である。大手門の東側に東虎口、西側には西虎口と枡形虎口があった。城の正面に四つの門があるのは当時の城郭では考えられないスケールだそうだ。

大手道は、大手門から天主・本丸に至る大通りである。大手門から山腹まで約一八〇メートルにわたって直線的に延びている。道幅は約六メートル。その両側に幅一メートルの石敷側溝があり、その外側には高い石塁が築かれている。道の左側は伝羽柴秀吉邸跡、道の右側には伝前田利家邸跡である。

# K O

# 金陵 M

